



無印

自然のちが

## 株主の皆様へ

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善等から設備投資が増加するなど、緩やかな景気回復基調となりました。一方、個人消費につきましては、雇用、所得環境の改善が見られたものの、税制改正や社会保険料の引き上げによる将来不安などから顕著な回復には至りませんでした。

乳業界におきましては、脱脂粉乳の過剰在庫解消に向けて業界全体で取り組んだものの、飲用牛乳の消費が低調に推移したこともあり、依然として過剰な水準で推移しました。

このような状況下におきまして、明治乳業グループでは、ヨーグルト・プロバイオティクス事業などのコア事業への経営資源の集中、技術力および商品開発力の徹底強化、グループ経営の推進と競争力の強化、信頼される「**MEIJI**」ブランドの確立などに注力してまいりました。

その結果、当連結会計年度における明治乳業グループの売上高は、前期比1.9%減の7,109億8百万円となり、営業利益は前期比3.0%増の199億8千9百万円、経常利益は前期比5.8%増の201億7千9百万円となりました。

なお、平成17年10月1日より、大阪府貝塚市にて、当社関西工場が稼働を開始いたしました。当社では当該工場を西日本地区のヨーグルト・プロバイオティク

ス事業の基幹工場と位置付けております。

明治乳業グループを取り巻く経営環境は、景気は回復基調で推移しているものの、原油高や素材価格の高騰による企業業績への影響が懸念されるところとなっており、個人消費につきましても、税制や社会保険料の見直しによる家計負担の増加といった要因などにより、大幅な改善は見込めない状況にあります。

また、乳業界におきましては、これまでの乳業界における競争から従来の枠組みを超えた食品企業間での競争へと変容しており、「食」を巡る市場競争は一層激化することが予想されます。

なお、飲用牛乳などの消費低迷や、WTO農業交渉における乳製品自由化の動向によっては、グループ経営に大きな影響を与える可能性があるものと認識しております。

このような厳しい環境下ではありますが、明治乳業グループでは、「独自の技術力、商品力を活かして世界の食品トップ企業と互角に競争できる食品企業グループとなる」という長期ビジョンを掲げ、グループ全体の企業価値のさらなる向上を図っていく所存であります。

当社では、「新・総合乳業の創造」を基本コンセプトとした中期経営計画（2006年度～2008年度）を策定いたしました。

当社は、長期ビジョンの下、乳および乳業技術を事

## CONTENTS

株主の皆様へ	1	新商品のご案内	7	会社概要 / 役員 / 連結対象会社	13
業績の推移（連結・単体）	3	連結財務諸表	9	株式の状況 / 株主メモ	14
事業別の概況（連結）	4	単体財務諸表	11		
部門別の概況（単体）	5	レポート	12		

業基盤とし、独自性の高い技術開発力を通じてお客様に健康とおいしさを提供し続け、より多くのお客様の、さらなる支持を獲得し続けることにより、世界に通用する高収益企業になるべく挑戦してまいります。

具体的には、各事業分野ごとに、「ヨーグルトは明治」と言われるようなNO.1事業を複数構築してまいります。加えて、事業の重複領域や境界領域を強く意識した事業の運営・展開を図るなかで、事業同士の強いつながりによるシナジーを創出することにより、全体としてさらに大きな総合力を発揮できるよう推進してまいります。

次に、「MEIJI」ブランドや、「明治ブルガリアヨーグルト」、「明治おいしい牛乳」といったプロダクトブランドにおけるブランドマネジメントおよびコミュニケーション活動をより一層強化・推進してまいります。

また、さらなる経営効率を追求するために、少数精鋭体制を確立し、グループ全体での間接部門の合理化や集約、物流費の低減など固定費の削減を推進してまいります。

これらにあわせまして、食品安全管理体制のより一層の充実を図るとともに、環境との調和を重視し、コンプライアンスに立脚した事業運営を推進してまいります。

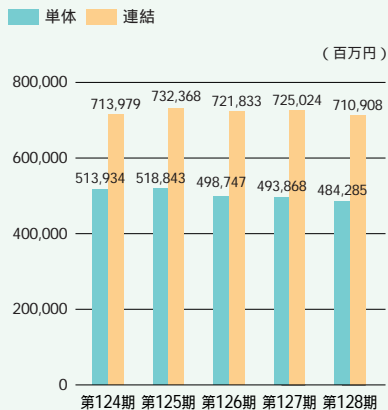
株主の皆様におかれましては、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月

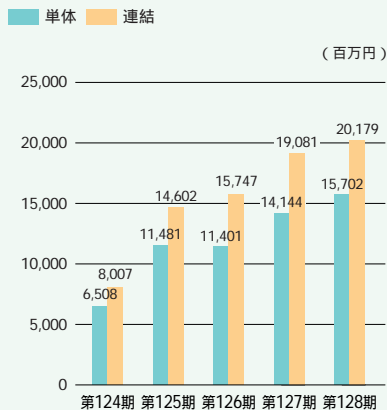


## 業績の推移（連結・単体）

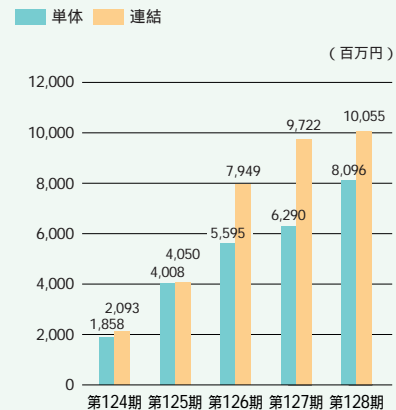
### 売上高



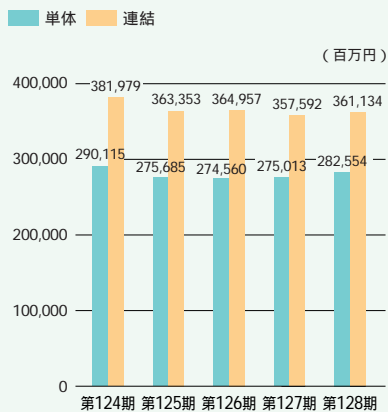
### 経常利益



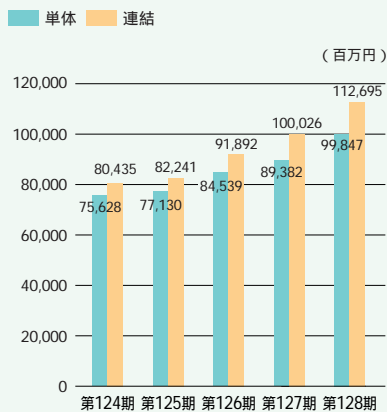
### 当期純利益



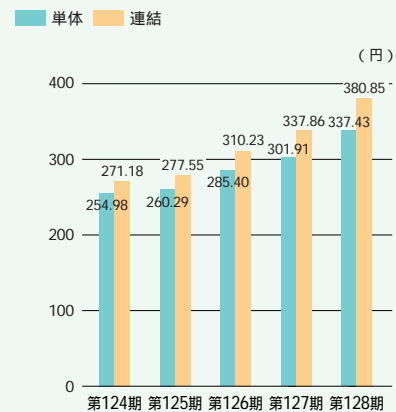
### 総資産



### 株主資本

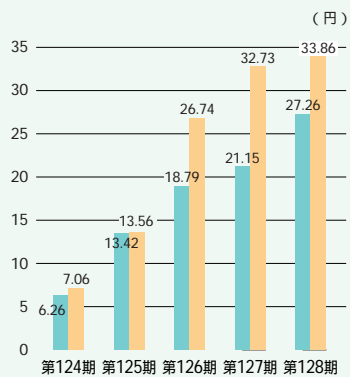


### 1株当たり株主資本



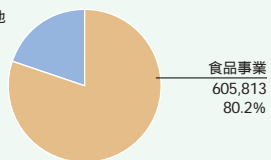
## 1株当たり当期純利益

■ 単体 ■ 連結

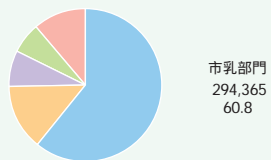


## 事業別売上高(連結)

サービス/その他  
149,243  
19.8%



## 部門別売上高(単体)





## アイスクリーム部門

「明治エッセルスーパーカップ」が伸長したものの、前期の猛暑の反動もあり、当部門の売上高は前期比3.7%減の366億3千6百万円となりました。

明治エッセル  
スーパーカップ

明治  
うずまきソフト

Aya Creamy  
バニラ

## 飲料部門

前期の猛暑の反動もあり、当部門の売上高は前期比2.9%減の312億5千6百万円となりました。

明治アクアブルガリア

ミニッツメイド  
オレンジ&マンダリン

## その他部門

栄養食品が堅調に推移したものの、マーガリン類の会計処理方法の変更による影響などにより、当部門の売上高は前期比5.7%減の548億3千9百万円となりました。

ヴァームシリーズ

ピッツァ&ピッツァ2枚入

## 新商品のご案内

### 市乳

#### 「明治ミルクと珈琲」ブランドシリーズ

当シリーズは昨年の新発売以降好評を頂き、現在順調な販売を続けております。今回、さらなる商品力強化に向けリニューアルをいたしました。ミルク感を改良するとともに、パッケージ下部に新たに中身の色と同色のラインを入れることにより、現在のデザイン基調を活かしながら、商品判別性を高めるパッケージといたしました。



#### ファイバードリンク ラズベリー&アップル

女性に摂取意向の高い食物繊維の一種である「難消化性デキストリン」を5g配合し、手軽におなかの調子を整えることができる特定保健用食品です。



#### 明治プロビオヨーグルトLG21低脂肪

プロバイオティクスヨーグルトで圧倒的なブランドである「明治プロビオヨーグルト LG21」シリーズに、健康志向にマッチした低脂肪タイプが加わりました。脂肪の摂取が気になる方のニーズを捉え、乳脂肪分を1.4%とし、自然な甘さを大切に甘さひかえめタイプです。毎日の健康を気遣う方へぴったりの商品ですので、是非一度お試しください。

#### 明治低カロリーカルシウム

近年、自分の体型を「太っている」「やや太っている」と認識する人の割合は男女共に増加しています。そこで「低カロリー」というキーワードに着目し、普通牛乳（ ）と比べてカロリーを42%カットした上にカルシウムと食物繊維を強化した商品を発売いたしました。カロリーを気にせず日々不足しがちな栄養素を手軽に摂ることができます。  
「五訂増補日本食品標準成分表」より

#### 明治ブルガリアヨーグルトLB81 ドマッシュノはちみつ仕立て

「ドマッシュノ」とはブルガリア語で「手作り」を意味します。「明治ブルガリアヨーグルトLB81ドマッシュノ」に、厳選されたブルガリア産はちみつを加え、容量も食べきりパーソナルサイズ（90g）にし、本場ブルガリアの本物感をより訴求いたします。

### バター チーズ マーガリン



#### 明治チューブでガーリックソフト

ガーリックオイルとオリーブオイルを主体に風味豊かに仕上げました。ガーリックのシンプルな味付けなので、トーストだけでなくバスタ、魚介料理など様々な料理にご利用いただけます。チューブタイプですので手軽に塗れて、冷蔵庫内で場所を取らずに収納でき、においも漏れにくいことが特徴です。



#### 明治もっとカルシウム それいけ！アンパンマンベビーチーズ

お母様、お子様に好評の「それいけ！アンパンマンチーズ」の新しいタイプの商品です。お子様が食べやすい1個当たり10gのドミノサイズで、1個で牛乳1本分（200ml）（ ）のカルシウム（227mg）が摂取できる栄養機能食品です。  
「五訂増補日本食品標準成分表」より



#### 明治おつまみサイコロチーズ ココ味のレッドチェダー

濃厚なココが特徴のレッドチェダーを食べやすい約10mm角にカットし、いつでも手軽においしさを楽しめる食べきりパックにしました。おつまみとしてはもちろん、サラダやトースト、スープ、カレーなどあらゆる料理シーンに使いやすいサイの目カットです。





## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期 平成18年3月31日現在	前 期 平成17年3月31日現在
（ 資 産 の 部 ）		
流 動 資 産	136,458	142,360
固 定 資 産	224,675	215,232
資 産 合 計	361,134	357,592
（ 負 債 の 部 ）		
流 動 負 債	167,346	163,972
固 定 負 債	78,817	91,296
負 債 合 計	246,164	255,269
少 数 株 主 持 分	2,273	2,296
（ 資 本 の 部 ）		
資 本 金	23,090	23,090
資 本 剰 余 金	21,434	21,432
利 益 剰 余 金	58,505	50,260
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	10,059	5,546
自 己 株 式	394	303
資 本 合 計	112,695	100,026
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	361,134	357,592

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 単体財務諸表

### 貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期 平成18
（ 資 産 の 部 ）	
流 動 資 産	
固 定 資 産	
資 産 合 計	
（ 負 債 の 部 ）	
流 動 負 債	
固 定 負 債	
負 債 合 計	
（ 資 本 の 部 ）	
資 本 金	
資 本 剰 余 金	
利 益 剰 余 金	
その他有価証券評価差額金	
自 己 株 式	
資 本 合 計	
負 債 及 び 資 本 合 計	

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## レポート

当社は、ヨーグルト・プロバイオティクス事業の西日本地区における新しい生産拠点として、平成15年10月より新工場の建設を進めておりましたが、平成17年10月1日より商品の生産を開始いたしました。

同工場の主要な生産品でもあります「ヨーグルト」は、ここ10年の間で市場規模が約1.5倍に拡大しており、今後もさらなる需要の拡大が見込まれます。

主な特徴は次のとおりです。

1. 当社のもつヨーグルト・プロバイオティクス分野における独自の技術ノウハウを駆使し、モノ創りの革新に取り組みます。
2. お客様に高品質な商品を安定的にお届けするため、HACCPの思想に基づいた製造工程設計によって品質保証能力を向上させるとともに、安全を確保するトレーサビリティシステムを充実させます。

社 名 明治乳業株式会社  
 英 文 社 名 Meiji Dairies Corporation  
 設 立 大正6年12月  
 資 本 金 230億90百万円  
 本 社 所 在 地 東京都江東区新砂一丁目2番10号  
 従 業 員 数 4,352名

代表取締役 取締役会長	中 山 悠	取 締 役
代表取締役 取締役社長	浅 野 茂太郎	取 締 役
専務取締役	鶴 丸 健 彦	取 締 役
専務取締役	田 中 要	取 締 役
専務取締役	永 田 毅	取 締 役
常務取締役	齋 藤 繁 男	取 締 役
常務取締役	桑 田 有	取 締 役
常務取締役	吉 岡 幸 一	取 締 役
常務取締役	井 原 昇 一	取 締 役
常務取締役	西 美	常勤監査役
取 締 役	林 哲 夫	常勤監査役
取 締 役	松 澤 正	監 査 役
取 締 役	峯 元 和 博	監 査 役
取 締 役	重 成 範 男	

連結子法人等および関連会社  
 食品事業 19社  
 日本罐詰株式会社  
 明治油脂株式会社  
 北海道明販株式会社  
 東北明販株式会社  
 東京明販株式会社  
 東京明治フーズ株式会社  
 中部明販株式会社  
 金沢明販株式会社  
 近畿明販株式会社  
 中国明販株式会社  
 九州明乳販売株式会社  
 株式会社アサヒプロイラー  
 明治アグリ株式会社  
 明治ケンコーハム株式会社  
 大阪保証牛乳株式会社  
 四国明治乳業株式会社  
 東海明治株式会社  
 沖縄明治乳業株式会社  
 パンピー食品株式会社  
 サービス・その他事業 8社  
 明治飼糧株式会社  
 フレッシュネットワークシステムズ株式会社  
 東京牛乳運輸株式会社  
 株式会社カントラ  
 株式会社ケー・シー・エス  
 大蔵製菓株式会社  
 株式会社明治テクノサービス  
 株式会社ナイスデイ



